

第21回 医療の質・安全学会学術集会

その薬、本当に大丈夫？

— 症例で読み解く

Medication Reconciliation / Review の実践と多職種役割

見落とされた薬剤情報が、患者の安全を左右する。

医師・看護師・コメディカルによる、会場参加型の多職種で学ぶ **90分**

多職種で見直す「患者の薬」



医師



看護師



薬剤師



管理栄養士



MSW・他



臨床検査技師

医師だけでは気づけない、看護師だけでは拾えない、薬剤師だけでは解決できない。
多職種の力で、薬物療法の質と安全性を高めましょう。

座長

森谷 康志 先生

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院 薬剤本部

座長

柴田 啓智 先生

社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院
薬剤部

こんな方におすすめ！

- ☒ 薬剤情報収集に課題を感じている方
- ☒ 多職種連携を深めたい方
- ☒ 医療安全に関心がある方
- ☒ 明日から使える実践知を学びたい方



多職種で学ぶ薬物療法の落とし穴

1

抗がん剤だけ見ていて大丈夫？

外来化学療法室での
薬剤情報の落とし穴



榎本 英明 先生

学校法人 聖路加国際大学
聖路加国際病院 薬剤部

2

病棟におけるチーム医療
SGLT-2阻害薬の例から



鈴木 啓一郎 先生

公益財団法人 大原記念倉
敷中央医療機構
倉敷中央病院 薬剤本部

3

薬物療法プロセスの
安全性を高める
— 医療安全の立場から —



佐々 扶美 先生

社会福祉法人 恩賜財団
済生会熊本病院 薬剤部

4

チーム医療で支える
MedRec / MedReview
多職種連携の実践と課題



石塚 寛和 先生

医療法人鉄蕉会
亀田総合病院 薬剤部

経験の継承と科学的探求 ~さらなる高みを目指して~